

第 18 回定例委員会会議録

教 育 長) 開会宣言

教 育 長) 会議成立の宣言

教 育 長) 会議録署名委員の指名（河盛委員）

教 育 長) ここでお諮りいたします。第 20 号議案「令和 4 年度芦屋市立小・中学校管理職の人事異動に係る兵庫県教育委員会への内申について」は、その内容から秘密会で審議するのが適当と考えますが、御異議はございませんか。

〈異議なしの声〉

御異議なしと認め、そのように決定いたします。

あわせて、審議の順番ですが、関係者以外は退席することになりますので、本臨時会の後半に審議を行いたいと思いますが、御異議ございませんか。

〈異議なしの声〉

御異議なしと認めそのように決定いたします。

教 育 長) それでは、審議に入ります。はじめに、日程第 1、第 21 号議案「芦屋市立学校園医・学校園歯科医・学校園薬剤師の委嘱について」を議題とします。

提案説明を求めます。

学校教育課長) 〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長) 説明が終わりました。質疑はございませんか。

学校園医等においては、3 師会から御推薦いただくということが、どこの市ともそうなので、こういう形にさせていただきたいと思っております。

木村委員) 精神科医は含まれていないのですか。最近は、心療内科がありますが、学校園医の中に心療内科が入っていますか。

大人の分野ではかなり広まってきているので、やはり子どもの分野で心のサポートをするような専門家に入ってもらったらありがたい。スクールカウンセラーは臨床心理士か何かで、医者とは違うので、学校園医の中には、そういう人は入っているのかなと思いました。精神科医の数自体があまり多くはないのですが、心療内科は結構増えているので、その辺りどうですか。

教育長) 学校保健安全法において、学校園医の先生の数などはどうなっていますか。

学校教育課長) 法令に基づいて推薦依頼を送っています。

河盛委員) 精神科の先生は、別の形で何かあったような気がします。

木村委員) スクールカウンセラーではなくてですか。

河盛委員) 校医ではなくて、また別の制度が、何かあったような気がします。

教育長) 外科・内科、それから、定期健診のときには眼科の先生や歯科医の先生にも来ていただきますね。

学校教育課長) はい。

木村委員) 精神科医の定期健診はないでしょうから、何か問題があったときに相談できる精神科医や心療内科の先生はいらっしゃるのですか。

河盛委員) 精神科はたくさんおられますが、医師会に入っている先生が少ないので、そういう問題もあるのかもしれませんが。過半数が入っておられないのです。

学校教育部長) いじめ問題対策審議会で、協議会が行っている組織の中に

は精神科医の先生に入っただいて、そういう視点から様々な問題を見ていただいています。ですので、何か学校であったときには、その先生に相談することは可能です。

極楽地委員) 学校で、そういう精神科医や診療科の先生がいることが周知いただけたら保護者、家庭も安心感につながるので、ぜひ御検討いただけたらと思います。

学校教育部長) ただ、どのような形で入っただくのか。学校園医も、委託契約で派遣していただいているので費用が発生しています。いじめ問題対策審議会での相談や参加に係る予算はありますが、それ以外で入っただくことになると、予算が必要になりますので、少し検討させていただいてもよろしいですか。

極楽地委員) はい。

学校教育部長) 今日は、あくまでも学校保健安全法に基づいた校医、それから歯科医・薬剤師での選任となっていますので、御理解いただければと思います。

河盛委員) 実は、他市では校医が1人のところも多いのです。芦屋は内科と外科がありますが、そんなに区別がないところがほとんどらしいです。

木村委員) 精神科医は別に、1校に1人は要らないです。ただ市として、先生などが対処に困ったときに、教育委員会に行けばちゃんと紹介できる、相談できる精神科医や心療内科の先生がいる。そのような体制ができると、学校の先生も気分的に楽になるし、考えてみてもいいと思います。

教育長) 特に思春期外来など、専門性もあるので、市で置かなくても、専門等に繋ぐ形でフォローができることも考えられますが、

どういう形がいいのか研究させていただきます。

他に質疑はございませんか。

無いようですので、これをもって質疑を打ち切ります。

これより採決いたします。

本案は、原案どおりと決することに御異議ございませんか。

〈異議なしの声〉

御異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり決しました。

〈第21号議案採決。結果、可決（出席委員全員賛成）〉

教 育 長) 次 に、日 程 第 2、報 告 第 1 3 号「令 和 4 年 度 芦 屋 市 立 幼 稚 園 学 級 編 制 について」を 議 題 と し ま す。

提 案 説 明 を 求 め ま す。

管 理 課 長) 〈 議 案 資 料 に 基 づ き 概 略 説 明 〉

教 育 長) 説 明 が 終 わ り ま し た。質 疑 は ご ざ い ま せ ん か。

河 盛 委 員) 学 年 別 の ク ラ ス の 定 員 は、市 が 決 め て い る の か、そ れ と も も っ と 上 位 の 規 定 が 何 か あ る の か。

管 理 課 長) 市 で 決 め て お り ま す。

河 盛 委 員) 3 歳 児 2 5 人 は ど う で す か、特 に 現 場 で は 問 題 な い で す か。
3 歳 児 の 定 員 が 2 5 人 は ど の よ う な 基 準 で し ょ う か。

管 理 課 長) 岩 園 で 3 歳 児 を 試 験 的 に 実 施 す る 段 階 の と き に、教 育 委 員 会 で 検 討 し た 中 で、1 ク ラ ス 2 5 人 が 適 切 で あ ろ う と い う こ と で 決 定 し た 人 数 に な り ま す。

河 盛 委 員) 定 員 は、ほ か の 自 治 体 を 参 考 に さ れ た の で す か。

教 育 長) 認 定 こ ど も 園 の 3 歳 児 が 2 5 人 定 員 に な っ て い ま す。幼 稚 園 は、か つ て は 3 5 人 で し た が、3 5 人 は 多 過 ぎ る と い う こ と

で、30人にしました。次におむつも取れない3歳児の人数を、保育所の人数を参考にしました。

河盛委員) 特に差し障りはないのですか。

教育長) 今度、岩園幼稚園の報告会があります。そこで、聞いてみようと思います。

木村委員) 単学級がたくさん出てしまっていて、学教審でも立ち上げ、広域化して、スクールバスなどをたくさん走らせて、広いところから集めていくといったことも考えないといけないかもしれません。単学級も8人のところもあるので、このままではちょっとしんどいなというものがあります。抜本的に何か考えないといけないという感じがします。また、人数も毎年毎年下がってきますから。

河盛委員) こども園の配置なども影響していると思います。大規模こども園が割と南のほうに固まっているので、どうしても南のほうの幼稚園は減ってしまうのではないかと思います。

管理部長) 3歳児の試験的实施を1年間実施した検証と人口動態だとか私立の状況、無償化の影響もあるのと、あと河盛委員がおっしゃったように、西藏認定こども園ができたり、そういうこともありますので、その辺、検討しまして、今後対応を進めていきたいと思います。

教育長) 議会でもどうなのかと質問がありました。1年が終わって、試験を取るかどうかを検証する必要があると思います。ほかの幼稚園については、量と質の関係から考えます。

潮見幼稚園は頑張って、よく数を増やしてくれたと思います。

学校教育部長) 園長にもなぜ増えたのかという分析をしてもらいました。

園長が経営者という意識を持ってマネジメントをやってもらう中で、保護者からの口コミがかなり多かったです。実際、西藏こども園に行こうかと言っていたが、潮見を選んだという方が5名おられたり、やはり園経営をしっかり意識してやっていく。または口コミをどういう形で広げ、その口コミしてくれる人をどうつくっていくのか。これまで幼稚園の教育は、本当にいいとされている。

幼稚園だけで頑張るのではなくて、保護者の生の声、またはその生の声が、実際そうだというふうにするための見える化をどうしていくのか、大事だということを進めてもらい今回の19人という、去年の最初の3倍につながっているかなと思います。

今、宮川幼稚園もそういう意識を持って、今年は西藏こども園ができたこともある中で、やはりそことの兼ね合いもありますが、実際に園長も見える化をしながら、タブレットを活用しながら、幼稚園の経営をどうしていくのかも取り組んでもらっています。

本当にそれぞれ、これまでの教育だけではなくて、さらにプラスアルファ、どのようにしていくのかを考えてもらいながら、昨年から動いているところはあります。

木村委員) 私の娘が成人式を迎える頃になると着物業者からたくさんダイレクトメールが来て、どこで調べてきたのか、この人たちはと思うように来るのです。行政がやることだから、あまり露骨なことにはできませんが、でも、小さいお子さんを抱えておられる保護者の方で、次、私立に入れるか入れないかという人た

ちに、何か情報は届けたいです。この幼稚園はこんなことをやっていますということを知ってもらいたい。

学校教育部長) 参考として、潮見幼稚園のホームページを見ていただければと思います。潮見幼稚園は1学期、2学期のそれぞれ幼稚園の園活動の動画を載せています。その発想があったのは、新型コロナになってから、なかなか子どもたちの保育を見る機会が少なくなった。それを、やはりタブレットがあるのだから、タブレットで撮って、それを編集して流す。そのときには、子どもの肖像権などにも配慮しながら、撮り方も十分理解してもらって、こういうふうに撮ったらいいということをしなが、園長が上げていく。

ホームページを見れば、潮見幼稚園の保育はどんなふうに行われているのか、先生がどういうふうに関わっているのかも、静止画ではなく動画で声が聞こえるところが保護者にはすごくいい。それを見て来ましたという声もかなりあります。

ですから今、木村委員がおっしゃられたように露骨なことにはできない。でも、実際やっている保育内容、教育内容を上手にホームページから発信して行って、それを見ていただくことについては、かなりのPRになるのではないかと考えています。それを周りから聞いた保護者が、本当にそうなのかといったときに、そこで検証するというような、そこで保護者のニーズと合えば来てくれるところにつながっているのではないかと考えています。

上月委員) 読書のこともそうですが、園児や小・中学生の色々な活動が北館の1階に掲示されます。そのときに保育所の取組のよさ

に気づいたことがありました。打出保育所は2021年度に、ソニーの幼児教育支援プログラムを受けたという情報をもらいました。消防署を見学したり、火災報知器の数を調べたりして、大型絵本をつくる。言葉、文字を書かないだけで、小学校につながるような取組をされています。

タブレットがどのように使われているのかは、まだはっきりとしたことは分かりませんが、ほかのこども園とのリモート交流もあつたりするという、取組としては非常にインパクトがあります。もちろん、芦屋の幼稚園は私が勤めたときから、何十年も前から、本当にすばらしい保育をしてこられたと実感をしております。それをどうやってアピールしていくのか、園の特色を出しながら、横並びではなくてやっていくことが、1つのそれも方向なのかなと考えています。

木村委員) あとはツイッターやインスタグラムなど、若い人はみんなそれをしていきますから、だから、そういうSNSの使い方も研究したほうがいいのかもかもしれません。

学校教育部長) ツイッター、LINE、フェイスブック、いろいろと考えたのですが、そこにはかなりハードルが高いことがあって。いろいろと個人情報のことがあつたりします。

木村委員) 例えば潮見幼稚園でこういうホームページをやっているというリンクを貼って、こういうものが見られますと発信するだけでも違うと思います。だから、ツイッターだけで個人情報を発信するのではなく、リンクを貼ることだと思います。

学校教育部長) そういうものも活用しながら、各幼稚園それぞれ地域の特性がありますので、そこをどう取り込んでいくのかという意識

を持って、経営していただきたいと思っていますので、教育委員会としても、アドバイス、サポートはしていきたいという考えです。

極楽地委員) 今のSNSの活用のお話に関連して、今回幼稚園のホームページ掲載の動画もブラッシュアップいただいて、ありがとうございます。せっかくなつくっていただいた動画を、いかにページビュー数を増やして、ホームページの閲覧数を上げるかが次の課題だと感じています。

一般企業でしたら分析ツールなどを用いて、どれだけページを見に来ている人がいるのかを分析してから、次、どうつなげるか、トライアル・アンド・エラーで進めるのですが、その次の段階を、やはり専門家の方や専門性の高い方を一緒に巻き込んで次につなげることを検討されたほうが、より周知できると思います。

教育長) 子どもの保育について先生たちは一生懸命やっています。ホームページのあり方や見栄えのよさなど、それは打出教育文化センターであるとか学校教育課、また専門の人に指導してもらうなどして、研究をさせます。

木村委員) 潮見幼稚園、今見ていますが、どうしても堅苦しくなってしまうので、最初にこんな楽しいことがありましたという動画で、クリックしたらバーンと楽しそうな動画が流れ出す、といった見せ方、ちょっと専門家にアドバイスを受けていただければと思います。

学校教育部長) そこが脱却しなければいけないところだと思います。取りあえずやってみようというところで、手応えを感じてきています。

潮見幼稚園を見に行くと、先生の誰かが絶対にタブレットを持っています。子どもの様子を、おもしろいところを何とか撮ろうと、子どもの様子をしっかり見て、すぐにカメラを構えておいて、子どもが自分たちが思った反応をしたときに動画を撮ることを繰り返していますので、今後は次の段階として動画の編集テクニックや見せ方になってくると思っています。

木村委員) その動画を直接ツイッターでリンク貼ればいいのです。こんなにおもしろいところがありますよとツイッターに出てくるから、それをやったら、いきなり楽しそうな動画が出てくると。これは、どこの幼稚園かと見るとか。一般の若者の中にはやっている感じではないです。ちょっと一世代前かなみたいな。

学校教育部長) 夢は広がりますが、幼稚園も初めての取組、潮見がやってくれたのはありがたくて、初めてのことなので。

木村委員) でも、それをやると少し反応があるということですね。

学校教育部長) 反応があります。

木村委員) だから全園、この取組をしてもらってください。

学校教育部長) はい、それを今行っているところです。

木村委員) 楽しみながらやっていくのがよいと思います。

学校教育部長) 動画の撮り方からレクチャーしました。どうしても長く撮ってしまうのですが、15秒で抑えていく。さらに、そういうところで子どものいい表情や活動を撮ろうと思ったら、アップショットを撮るとかルーズで撮るとか、パンするといった技術も必要でないかということで、今後研究を重ねて参ります。

教育長) 子どもを直接しっかりとした保育をする、プラスアルファとして取り組んでください。

学校教育部長) はい。

極楽地委員) 今のお話ですが、先生のご負担が増えないように、かつ楽しく保育に携わっていただけるようになればいいなと思います。

あと1点、4ページで、令和3年度から令和4年度のクラス編成の減が2クラスあったと思いますが、以前から保護者の目線として、学級数が減ってしまうと先生がどうなるのという、先生を心配する声が保護者間ではかなりあります。こども園に異動された先生もいらっしやって、苦勞されているのを見てきたので、その辺り、先生方のICTの対応だったり、いろいろな問題のケア、プラス先生方自身の生きがいや働きがいも、よりケアいただきたいなと感じていますので、よろしく願いいたします。

教職員課長) 認定こども園には現在6名の幼稚園の先生が配置されています。定期的に訪問させていただいて、話を伺っています。特に西藏こども園に、4月に着任された3名の先生は、最初は緊張されておられました。ただ、ほぼ1年がたっている中で、非常に表情が明るくなっています。さらに先生方や子どもの数も多いところで、若い先生方からいろんな刺激をもらって、充実しているという印象は受けておりますし、楽しく仕事をされていると思います。

同じく幼稚園につきましても、学級数は減りますが、正規の幼稚園の先生につきましても、担任として充足しております。ただ、令和4年度から4名の先生が短時間勤務を希望されておりますので、保育時間が短くなりますが、その代わりとして、担任の補助という形で、もう1人先生をつけますので、教育内

容の充実にはつながると思っております。

極楽地委員) はい、ありがとうございます。

教育長) こども園の、1号の子の保育は幼稚園の先生が行っているのですか。それとも1号ではなく2号、3号の子に対しても幼稚園の先生が保育しているのですか。

教職員課長) クラスには1号の子も2号の子もいます。

教育長) 現在、幼稚園の先生が認定こども園に行っています。逆に、保育園の先生が幼稚園に来るような交流は視野にあるのですか。

教職員課長) 将来的にはやりたいと思っています。やはり、幼稚園で培ったいろいろな文化であったり、スキルは非常に高いものがありまして、こども園に行ったときに、元保育所にいらっしゃる先生が、非常に感動するようなところも多々あることがあります。現在は一方通行、教育委員会からこども園にということで行っておりますが、将来的には就学前の先生という位置づけにして、交流を深めていきたい。それは、それぞれの施設の底上げにつながっていくと考えており、将来的にはと考えております。

教育長) 充実させる意味で、そういう交流も、考えていきましょう。

管理部長) 1点だけ補足です。令和4年度、定年退職の先生がいらっしゃいますので、職員数と学級が減る分が同じとなります。

極楽地委員) ありがとうございます。

教育長) 他に質疑はございませんか。

それでは、報告第13号「令和4年度芦屋市立幼稚園学級編制について」の報告を受けたものといたします。

教育長) ただいまから非公開で審議いたしますので、教育委員、関

係者以外の方は退席願います。

〈秘密会〉

〈第20号議案採決。結果、可決（出席委員全員賛成）〉

教 育 長) 非公開での審議は終了いたしましたので、これより公開いたします。

〈非公開審議 終了〉

教 育 長) 閉会宣言